

ITC-LMSの活用

情報基盤センター 柴山悦哉



オンライン授業でのICT利用

- ◆ 遠隔でのコミュニケーションと情報共有にはICTが必須
- ◆ たとえば,
 - ◆ 教員と学生との間の連絡
 - ◆ 教材配布と授業配信
 - ◆ レポートやアンケートの回収
 - ◆ ディスカッション
 - ◆ コンテンツの共同作成



以降の内容

- ◆ ITC-LMSの概要：何がでできるか？
- ◆ 教員の ITC-LMS の利用方法に対する学生からの要望（不満）
- ◆ その他の注意事項

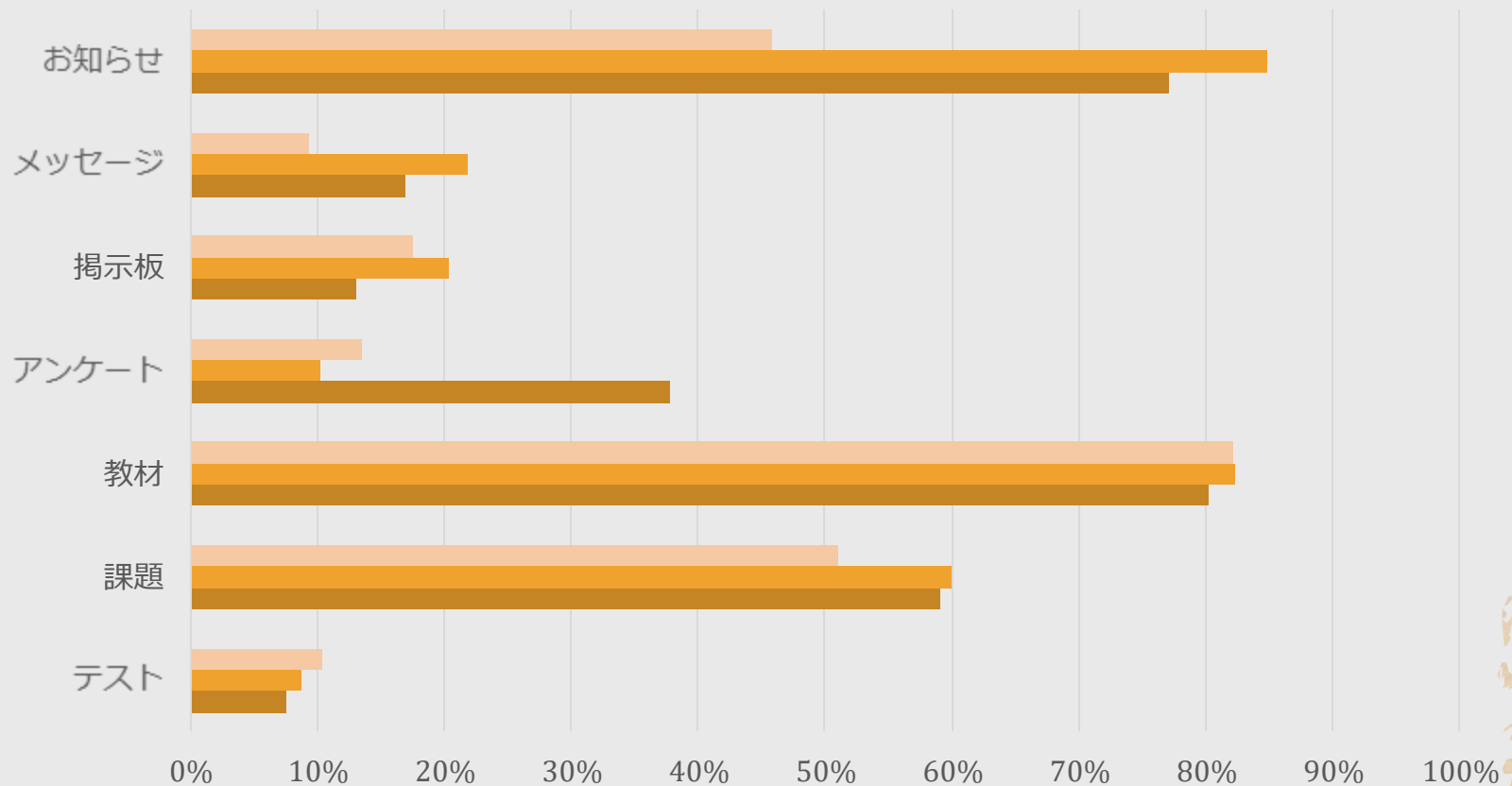
ITC-LMS で何ができるか？ (1/3)

- ◆ 一般的なコミュニケーションの支援
 - ◆ お知らせ（教員→学生）
 - ◆ メッセージ（学生→教員）
 - ◆ オンライン掲示板（学生⇄教員，学生⇄学生）
- ◆ 授業に特有の情報の受け渡し
 - ◆ 教材配布
 - ◆ レポート回収とそれに対する採点結果等の配布
 - ◆ 小テスト
 - ◆ 出席確認
- ◆ その他
 - ◆ アンケート

ITC-LMS で何ができるか？ (2/3)

◆ Sセメスターで各機能を利用したコースの割合

■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年



ITC-LMS で何ができるか？ (3/3)

- ◆ アクセスの制限
 - ◆ UTokyo Account 保有者のみ利用可能
 - ◆ i.e. 本学構成員以外はログインできない
 - ◆ UTokyo Account 保有者でも，参加登録したコース以外のコンテンツには，ほとんどアクセスできない
 - ◆ 各コースの「概要」と「オンライン授業情報」は例外
- ◆ 学生の閲覧・投稿履歴の確認

学生の教員に対する要望

- ◆ 単位は不要だが聴講したい
- ◆ 担当教員と連絡を取りたい
- ◆ 利用方法を統一して欲しい

単位は不要だが聴講したい (1/4)

- ◆ コロナ前なら履修登録しなくても、教室で配布資料を受け取れた
- ◆ ITC-LMS 経由で資料を見るためには、履修登録または仮登録が必要

単位は不要だが聴講したい (2/4)

- ◆ デフォルトでは、履修登録期間中は仮登録・自己登録を許可，その後は不許可
 - ◆ 履修登録期間終了後に「使えなくなった」という問い合わせが多い

学生の登録方法	参加開始時期	参加の可否
UTASで履修登録	登録の翌日	必ず参加可
ITC-LMSで教員が登録	即日(*)	仮登録を許可すると参加可 不許可に変更で参加取り消し
ITC-LMSで自己登録	即日(*)	仮登録と自己登録を許可すると参加可 不許可に変更で参加取り消し

(*) 即時ではない

単位は不要だが聴講したい (3/4)

- ◆ 履修期間中は，仮登録・自己登録を許可するのがお勧め
 - ◆ 履修期間後も登録を認めて欲しいという要望が多い

仮登録を認める

履修者範囲設定

履修登録者+仮登録者

自己登録

許可する

履修確定以降

「履修者範囲設定」を自動的に「履修者登録者のみ」に変更する

コンテンツ再利用

作成したコンテンツを他のコースでの利用を許可する

メッセージ利用

学生からのメッセージを受け付ける

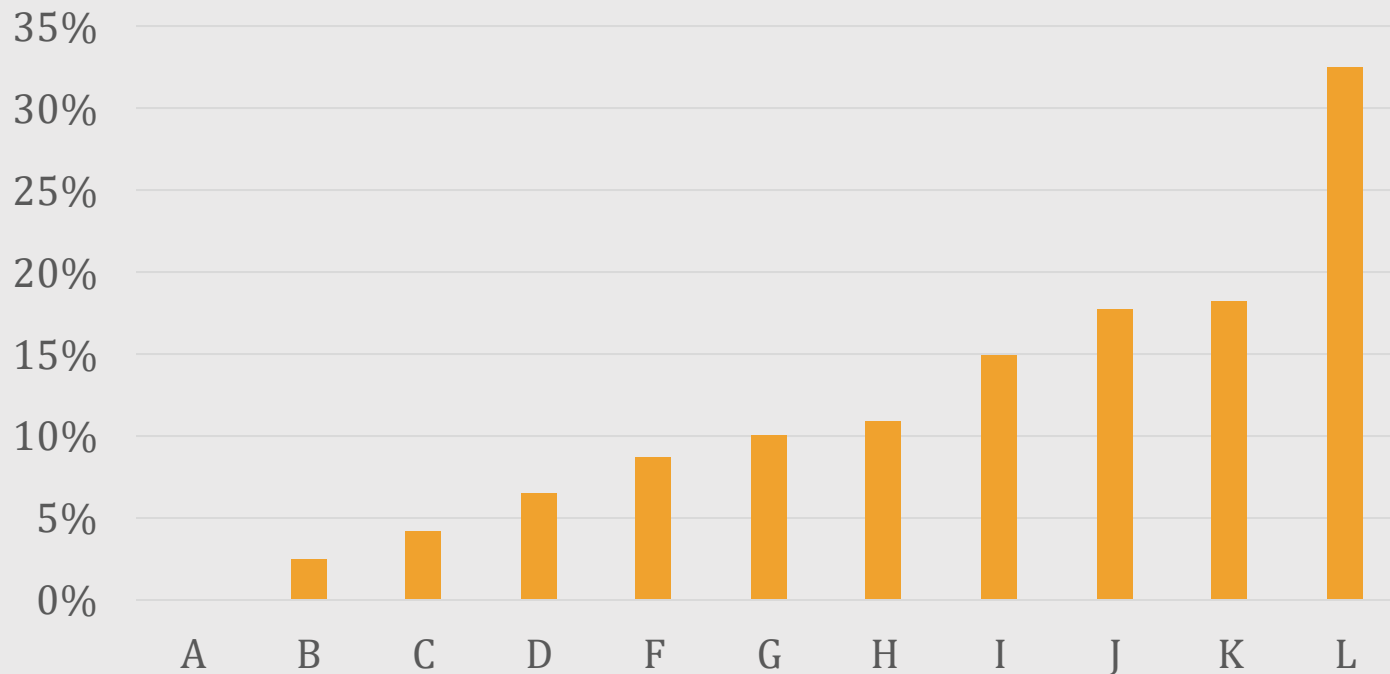
自己登録を認める

チェックを外すと
履修登録期間後も
仮登録を認める

単位は不要だが聴講したい (4/4)

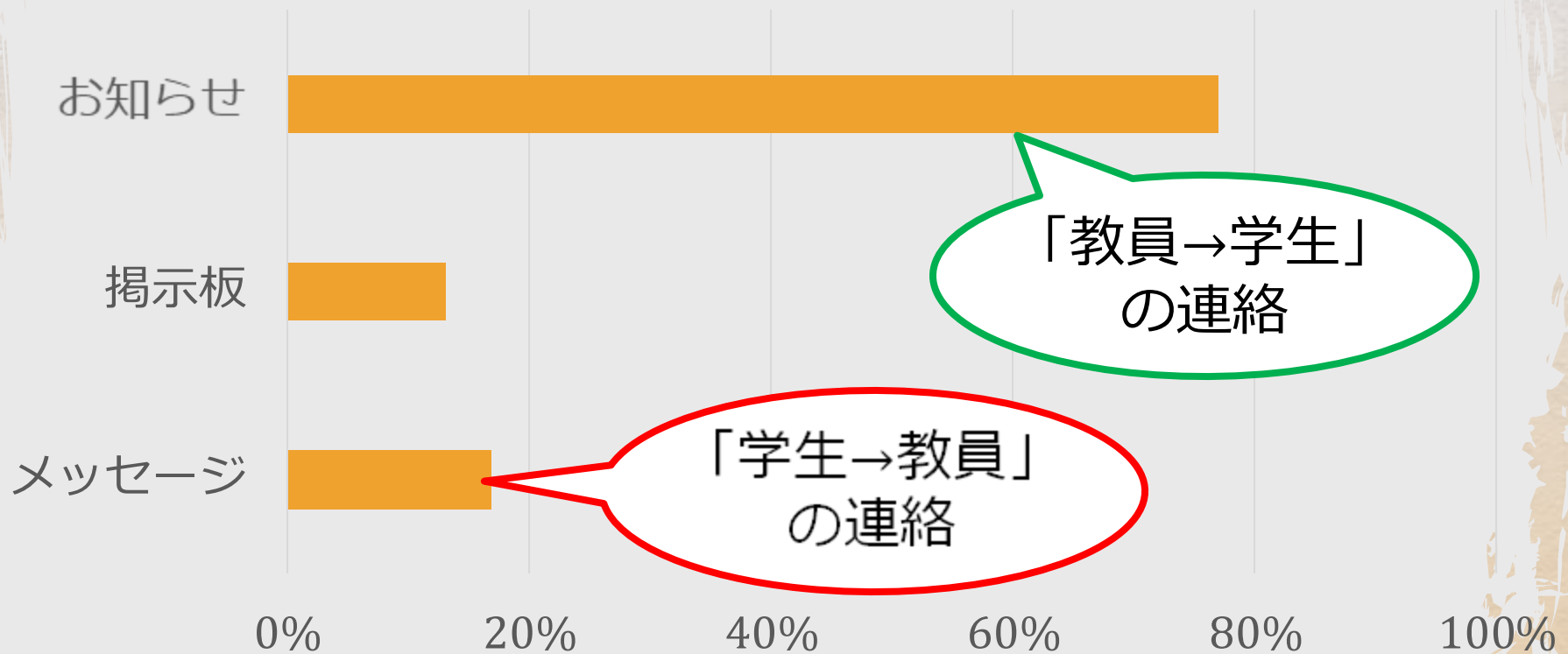
- ◆ 以下のグラフは、履修登録後の自己登録を認める科目の比率

- ◆ A-Lは、教養学部前期課程と後期課程10学部を匿名化したもの



担当教員と連絡を取りたい (1/3)

- ◆ 「お知らせ」機能は多用するが、「メッセージ」機能はオフにしている教員が多い



担当教員と連絡を取りたい (2/3)

◆ ITC-LMS のお勧め設定

◆ メッセージを有効化

- ◆ 学生が教員のメールアドレス等を知らなくても「学生→教員」の連絡が可能になる
- ◆ 教員は、送信者を把握できる
- ◆ (注) 教員が学生からのメッセージを見ない可能性を減らすため、初期設定では無効化してある

◆ 学生連絡用に掲示板を開設

- ◆ 担当教員が (原則として) 見るか見ないかを宣言しておいた方が良い

◆ 匿名アンケートの設定

- ◆ シャイな学生から率直な意見を聞きたい時に有効

担当教員と連絡を取りたい (3/3)

履修者範囲設定	<input checked="" type="radio"/> 履修登録者+仮登録者 <input type="radio"/> 履修登録者のみ
自己登録	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する
履修確定以降	<input checked="" type="checkbox"/> 「履修者範囲設定」を自動的に「履修者登録者のみ」に変更する
コンテンツ再利用	<input type="checkbox"/> 作成したコンテンツを他のコースでの利用を許可する
メッセージ利用	<input checked="" type="checkbox"/> 学生からのメッセージを受け付ける

ここをチェック

利用方法を統一して欲しい

- ◆ 多くの授業を履修している学生は、以下のような不満を抱きやすい
 - ◆ オンライン授業 URL の掲載場所が、UTASのシラバス、ITC-LMSのオンライン授業欄やお知らせなど、授業によって異なる
 - ◆ 教材の配布方法やレポートの提出先が、ITC-LMS, Google Classroom, GoogleやMSのドライブやフォームなど、授業によって異なる
- ◆ 教員でも、もし学生のレポートが、ITC-LMSの課題・掲示板・メッセージ、メール、各種クラウドドライブ、レポートボックスなどからバラバラに来たら、嫌な思いをするのではなかろうか

オンライン授業URL掲載場所 (1/5)

- ◆ 学生画面にはオンライン授業情報が一覧表示される

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
オンライン授業情報一覧					
時限	コース名	オンライン授業情報			更新日時
2限	情報科学 (テスト用サンプル)	Zoomの接続情報は以下の通りです。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/xxxxxxx ミーティングID: xxx xxxx xxxx パスコード: xxxxxx			2021/09/13 17:18
4限	英語I (テスト用サンプル)	Zoomの接続情報は以下の通りです。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/xxxxxxx ミーティングID: xxx xxxx xxxx パスコード: xxxxxx			2021/09/13 17:18
集中	センターテスト2021	未登録			

オンライン授業URL掲載場所 (2/5)

- ◆ オンライン授業の URL は, ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄に載せるのが原則

2021/3/8 学部・大学院教育部会

ガイドライン

1. オンライン授業ではITC-LMSのオンライン授業情報欄をURLの通知に利用する。その他の機能も利用することが望ましい。オンライン授業URLはUTAS Lite: [東京大学オンライン講義検索](#) にも自動的に登録されるのでITC-LMSが利用できない場合に学生に伝達できるようにしておく。

オンライン授業URL掲載場所 (3/5)

- ◆ 「URLのリンク化」, 「ミーティングIDとパスワードの掲載」という要望もある
- ◆ 参考: https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/faculty_members/url

The screenshot shows a web interface with a navigation bar at the top containing 'Manual', 'Contacts', 'Help', 'Settings', and 'Logout'. Below the navigation bar are buttons for '閲覧ページ' (View Page) and '編集ページ' (Edit Page). The main content area displays 'テスト Z092102 情報科学 (テスト用サンプル)' and 'コースの概要説明 / Course Summary'. A red box highlights the 'オンライン授業情報' (Online Course Information) section, which includes the update date '2021/09/13 17:18', a note about Zoom connection information, a Zoom URL, meeting ID, and passcode. A red speech bubble points to an edit icon in the top right corner of the highlighted section.

Manual Contacts Help Settings Logout

閲覧ページ 編集ページ

柴山 悦哉 担当教員 編集

テスト Z092102 情報科学 (テスト用サンプル)

コースの概要説明 / Course Summary

オンライン授業情報

更新日時:2021/09/13 17:18

Zoomの接続情報は以下の通りです。

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/xxxxxxx>

ミーティングID: xxx xxxx xxxx

パスコード: xxxxxx

教員画面は
編集機能つき

オンライン授業URL掲載場所 (4/5)

- ◆ 東京大学オンライン講義検索 (UTAS-ITC-LMS(UTIL) Lite) でも閲覧できる

年度	2021	コード	Z092102	火2
開講所属	テスト			
開講科目名	情報科学 (テスト用サンプル)			
担当教員	柴山 悦哉			
オンライン授業情報(ITC-LMS)	Zoomの接続情報は以下の通りです。 https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/xxxxxxx ミーティングID: xxx xxxx xxxx パスコード: xxxxxx			
オンライン授業内容(UTAS)				
オンライン授業URL(UTAS)				

オンライン授業URL掲載場所 (5/5)

- ◆ ITC-LMSの「オンライン授業情報」欄に入力箇所を統一した場合、UTAS の記入欄をどうすべきか？
 - ◆ 空白にしておく
 - ◆ ITC-LMSへのリンクを載せる

リンクの情報は
ITC-LMSの
コースのページ
の下の方にある

このページのダイレクトリンク

<https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/lms/course?idnumber=2021Z0921020B02>

選択

課題やテストの出題方法 (1/2)

- ◆ 学生画面には、提出すべき課題と受験すべきテストが一覧表示される

学生はここで
締切確認する
可能性が高い

未提出の課題・テスト一覧

コース名 ▾	コンテンツ ▾	タイトル	期限 ▾	再提出期限 ▾
センターテスト2021	課題	ユーザグループテスト	2021/09/16 00:00:00	
情報科学 (テスト用サンプル)	テスト	情報量	2021/10/04 15:00:00	
センターテスト2021	テスト	自動採点テスト (CITS課題#370)	2021/10/06 15:00:00	
情報科学 (テスト用サンプル)	課題	情報科学に関する議論	2021/10/13 00:00:00	2021/10/21 00:00:00

課題やテストの出題方法 (2/2)

- ◆ 前ページの一覧に載ると、学生は予定を立てやすい
 - ◆ したがって、ITC-LMS で出題するのがお勧め
- ◆ 課題・テストの期限は、学生に連絡した締切と一致させるのが原則
- ◆ レポートの提出遅れを許したい場合
 - ◆ 「期間後の提出」を「可」に設定する or
 - ◆ 「再提出期限」を設定する
- ◆ テストの受験の遅れを許したい場合
 - ◆ テストのコピーを作り、期限を変えてもう一度出題
 - ◆ コピーを作るには「テンプレート登録」&「テンプレートから読み込む」を使うか、「過去のコンテンツをインポート」を使うと良い

その他の注意事項

- ◆ 情報更新の遅延
- ◆ UTAS の古い科目情報
- ◆ コースのグルーピング
- ◆ テストの自動採点
- ◆ 課題提出締切時刻

情報更新の遅延

- ◆ 瞬時には反映されない操作・動作もある



- ◆ UTAS での履修登録が ITC-LMS に反映されるのは翌日
- ◆ ITC-LMS での担当教員, TA, 履修者の登録が反映されるのは, 登録された人が次回 ITC-LMS にログインしたとき
- ◆ 教材や課題の登録が, 学生にメール・LINEで通知されるのは1日に1回 (午前7時台) のみ

UTAS の古い科目情報

- ◆ UTAS に科目が登録されると、セメスター・タームが始まる約1ヶ月前から ITC-LMS で対応するコースが使えるようになる
 - ◆ 今日現在、Aセメスター・A1タームのコースは使えるが、A2タームのコースは使えない
- ◆ その後、UTAS で、開講される曜限が変更されたり、削除されたりしても、ITC-LMS 上の古い情報を反映したコースは消えない
 - ◆ 仮に、既に使われているコースを消すと、設定情報や登録されたコンテンツも同時に消える



コースのグルーピング

- ◆ 複数看板の科目として UTAS に登録されている場合、デフォルトで、対応するすべてのコースが一つにまとめられる
 - ◆ 教材、課題等の登録を1回行えば、全科目の履修生に情報が伝わる
 - ◆ なお、学生には、それぞれの履修コースが見える
- ◆ それ以外の場合でも、自分が担当する複数のコースを一つにまとめることができる
 - ◆ ただし、履修生の重複があったり、複数コースに既にコンテンツが登録されている場合には、まとめることができない



テストの自動採点

◆ 選択式・穴埋め式のテストは自動採点可能



◆ ただし、穴埋め式の自動採点は、余計な空白文字が1個あるだけで不正解になる

◆ 手動での訂正は、GUIでも、Excelファイルのダウンロード&アップロードでも可能

ランダム出題 [必須]	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="text"/> 問
合格点 [必須]	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり <input type="text"/> 点
採点結果の参照 [必須]	<input checked="" type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 提出時/採点后 <input type="radio"/> 解答期間終了時
正解の参照 [必須]	<input type="radio"/> 不可 <input checked="" type="radio"/> 提出時 <input type="radio"/> 採点后 <input type="radio"/> 解答期間終了時
自動採点 [必須]	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
再受験 [必須]	<input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 合格点に達するまで可
公開対象 [必須]	<input checked="" type="radio"/> すべての履修者 <input type="radio"/> ユーザグループを選択

課題提出締切時刻

- ◆ 以下の表は、2021年度Sセメスターの課題の締切時刻トップ10
 - ◆ 昨年度同様 00:00 締切りが非常に多い
 - ◆ 00:00は「締切の日を間違えやすいので止めて欲しい」という声も聞こえてくる

時刻	比率	時刻	比率
00:00	41.0%	23:59	3.3%
17:00	6.2%	18:00	3.3%
12:00	5.8%	15:00	2.6%
13:00	4.1%	23:00	2.2%
23:55	4.0%	20:00	2.1%

おわりに

- ◆ 2020年度以降，ITC-LMS は，教材配布・レポート提出やコミュニケーションツールとして，1セメスターあたり5,000コース以上で利用されている
- ◆ ITC-LMS の機能・性能に関するアンケートに，今年も，2,500名近く（主に学生）から回答をいただいた
- ◆ アンケートの回答も参考にして，機能改善を進める予定です